

病院医学教育センター

連絡先

TEL 0853-20-2076(病院医学教育センター)・2128(研究室)
 FAX 0853-20-2405(病院医学教育センター)
 E-mail: mhirose@med.shimane-u.ac.jp

業務内容

島根大学医学部附属病院では、平成20年4月病院医学教育センターを設置しました。同センターでは、医療安全や院内感染対策などを中心に職種や診療科・部門・部署などの枠組みを越え、各診療科・部署の調整を行ないつつ病院組織横断的な活動を行う特殊診療部門の一つとして設置されたもので、病院活動を実践するとともに、その評価やフィードバックを目的に医療経済学的手法を用いて検証することです。また、医療費の増大が懸念されるなか、限りある医療資源の有効利用の観点から、国立大学病院における病院経営の効率化が求められています。同時に、大学病院でしか対応できない疾患や救急医療など不採算面を度外視して求められています。このように大学病院には、患者の安全確保や医療の質の向上と病院経営の効率化という、重要ではありますが、相反する命題が課せられており、医療安全や感染対策などの医療管理部門はよりの確で適切な情報提供と科学的根拠に基づく病院マネジメントを実施する必要があります。

このようなことから、同センターは、附属病院で提供される医療の質およびすべての医療従事者の質の向上を目的として、医療従事者が関与する「病院医学」教育を恒常的に診療科や部署を越え組織横断的に継続して実践する生涯教育部門と位置づけられます。従来、とすると医学教育が「医師」を対象にすると考えられていましたが、病院は医師を含めた医療従事者全員で支えられており、「病院医学」を学問として位置づけ発展させてゆく必要性が認識されてきたからです。それが特定機能病院である大学病院としての使命でもあり、それを果たすことで、島根県や地域住民の皆さんに貢献していきたいと考えています。

とくに平成22年度は、医療倫理関連の行事として、事前要望書に関する市民フォーラムを開催しました。「今を大切に生きるー医療の限界を超えてー」をテーマに、京都大学こころの未来研究センター教授カール・ベッカー氏による基調講演とパネルディスカッションを行いました。また、本センターが今年度から、日本医療マネジメント学会島根支部会事務局を担当することになりましたが、昨年9月25日に大社文化プレイスうらら館において小林祥泰病院長を会長として第9回島根支部学術集会を開催しました。同学術集会のテーマは「地域医療における質の向上と標準化ー臨床指標の有用性とその活用ー」で、特別講演に国際医療福祉大学教授の池田俊也先生から「臨床指標を用いた医療の質の評価」と題してご講演をいただきました。学術集会は、関係者を含め、24施設342名という、多数のご参加により、成功裏に終わることができました。

以上のように、本センターは患者の安全確保とともに医療の質の向上と効率的な医療の提供を目指して、活動しています。

○病院医学教育センターの活動

- ①病院医学教育研究助成に関すること
- ②医療安全および感染対策等教育・研修等に関すること
- ③医療従事者の生涯教育・研修等の支援に関すること
- ④高度医療人養成推進事業とくに「山陰と阪神を結ぶ高度医療人養成プログラム」に関すること
- ⑤病院の医療倫理教育プログラムに関すること
- ⑥病院の医療機能に関することなど

副センター長プロフィール



副センター長(副病院長(安全管理担当)・小児科教授)
山口 清次

専門分野

小児科、遺伝性疾患、先天代謝異常症

資格

小児科専門医、臨床遺伝専門医・指導医、
 周産期新生児専門医・指導医



センター長(病院医学教育センター・診療教授)
廣瀬 昌博

専門分野

病院医学教育学、医療管理学・医療経済学、
 医療安全、外科・消化器疾患

資格

外科専門医・指導医、消化器病専門医、
 ICD

病院医学教育研究

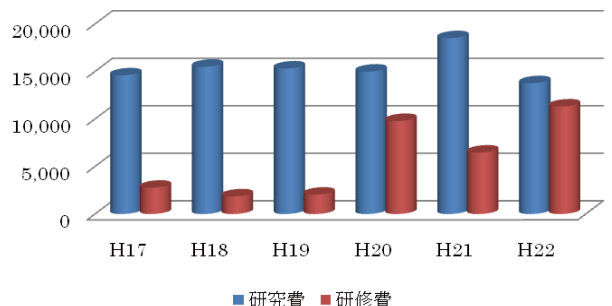


図1. 病院医学教育研究助成

※平成20年度から研修費については、従来各部署に配分されていた研修費も同センター研修費より拠出されることになったために増加したものです。



図2. 日本医療マネジメント学会第9回島根支部学術集会